# 2026 立志式　蒼天 ～363羽の答えを見つける旅路～

「立志」とは、志を立てること――。

そこには、数え年で15歳を迎える子どもたちが「人生の目標を設定し、それを成し遂げようと決意を新たにする」という意味が込められています。

今年度、立志を迎えた東海中学校と東海南中学校の２年生は363人。両校が合同で立志の年実行委員会を組織し、およそ９か月かけて準備してきた「立志式」が、２月５日、東海文化センターで行われました。先生や保護者が見守る中、まだまだ幼い頃の面影を残しながらも、未来を見据える「一人の大人」として大きく成長した姿を見せてくれた生徒たち。テーマである「蒼天～363羽の答えを見つける旅路～」を胸に、夢や目標に向かってそれぞれの答えを見つける旅への第一歩を踏み出しました。今回は、式を企画した実行委員に、立志式を終えての想いを聞いてみました。

**【問い合わせ】**指導室幼児・学校教育指導担当（☎282-1711 内線1470）

令和７年度
立志式

14歳

令和６年度
中学校入学

12歳

令和４年度
１／２成人式

10歳

## We are going for dream
### ～みんなで夢に向かって進んでいこう～

東海南中学校

実行委員長　嶋﨑 楓さん

### 人の役に立てる大人に

実行委員として人前に立つ経験が増えて、自分の自信につながりました。立志を経て、自分の将来も少しずつイメージすることができるようになり、人の役に立てる大人になりたい思いが強くなりました。

### 格好良い人になる

大人になる前に、いろいろな挑戦や経験をしたいという思いから、実行委員に挑戦しました。場を明るくできるような人が格好良いと思うので、そんな大人を目指しつつ、教師になる夢に向かって努力を続けていきます。

森 太一さん

### 「大人」を自分ごとに

初めて、大きなイベントに関わり、話し合いの中で意見がまとまっていく過程を経験して、成長できたと感じました。「立志」を経て、自分にとって遠い存在だった「大人」が身近になったので、自分ごととしてとらえていきたいです。

圷 夏葵さん

6歳

平成29年度
小学校入学

幼稚園入園

保育所入所

### 引っ張っていく存在に

実行委員は、大変なこともあったけれど、仲間に助けられて乗り越えることができました。仲間に助けてもらった分、次は自分が引っ張っていく存在になりたいです。

坂本 結和さん

### 母のようになりたい

今年度は、立場が変わって先輩になり、責任感が芽生えました。さらに「立志」を迎える中で、自分と向き合う時間が増え、自分のことを知る機会になりました。母のように、相手の立場に寄り添った大人になることが今の目標です。

小林 礼奈さん

砂押 英幸さん

### 何度でもチャレンジはできる

東海中学校の卒業生で、民間企業での勤務を経て、現在、デジタル庁に勤務している砂押英幸さんに「国家公務員の仕事とデジタルの未来」と題した講演をいただきました。毎日こつこつと努力を積み重ねることの大切さに触れ、「いつまでも、何度でもチャレンジしてほしい」と生徒たちに力強いエールを送ってくれました。



## Find my only answer！ ～過去と未来をつなぐ今～

東海中学校

副実行委員長
平口 礼琉さん

### みんな同じ熱量で

それぞれの“個”を一つの集団にしていく上で、みんなが同じ熱量で取り組むという目標を持って準備した結果、いい式ができたと思います。将来は、誰かに学びを与えられるような存在になりたいです。

### 人を巻き込める大人に

人をまとめる難しさを感じましたが、やり遂げることができました。亀田先生のような誰からも愛され、人を巻き込んで、いい雰囲気をつくれる熱さをもった大人になるという目標ができました。

齋藤 陽和花さん

### 人と関わり成長したい

和知 史栞さん

立志式を終えた今、本に関わる仕事がしたいという目標が見えてきました。本を通じて、多くの人と関わる大人になりたいです。今回もそうですが、人との関わりが自分の成長にもつながっていくと思ってます。

### "元気"をつなげていきたい

誰かを元気にできるような人になることが目標です。私が元気にした人が、誰かを元気にする。そうやって元気がつながっていったらうれしいです。

野﨑 咲菜さん

髙槌 美玲さん

大きな役割に挑戦したいと思い、実行委員になりました。３年生になっても挑戦を続けて、周りに気を配れる、誰にでも優しく接する大人になりたいです。

### 挑戦を続けたい

平成23年度
誕生

0歳

### 芽生えた思いを大切に

荒井 悠次さん
（東海南中学校教諭）

### 熱い思いを持って

実行委員は責任を伴う大きな仕事ですが、10人が協力し合って見事にやり遂げました。今は明確に見えなくても将来を考えるきっかけになったと思います。立志式はあくまでも通過点。これからも熱い思いを持って、今回芽生えた夢に向かって頑張ってほしいと思います。

亀田 直人さん
（東海中学校教諭）